

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	道路事業（道路改良事業）				
地区名	一般県道碧南高浜環状線（碧南工区）				
事業箇所	愛知県碧南市荒居町地内				
事業のあらまし	<p>一般県道碧南高浜環状線は、碧南市から高浜市に至る延長 7.2km の路線であり、碧南市と高浜市の中心部を結ぶ重要な路線である。</p> <p>本路線は、当該事業区間で分断されているため、本路線から周辺道路へ通過交通が流出し、周辺道路では慢性的に渋滞が発生している。また、通過交通により周辺住民の安全性が確保されていない。</p> <p>このため、「人の交流を支え地域を活性化する基盤整備」、「交通安全対策の強化」を主な目的として、周辺道路の慢性的な渋滞の緩和を図るとともに、周辺道路へ流出した通過交通を本路線に戻すことで周辺住民の安全を確保するため、一般県道碧南高浜環状線のバイパス整備を実施するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事業採択時 (H22)	再評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	平成 22 年度～29 年度	平成 22 年度～29 年度		
	事業費（億円）	7.6	7.6		
	経費内訳	工事費	2.7	2.7	
		用補費	4.6	4.6	
その他		0.3	0.3		
事業内容	バイパス整備 延長 L=0.4km 幅員 W=20m 2車線	バイパス整備 延長 L=0.4km 幅員 W=20m 2車線			
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事業採択時の状況】</p> <p>本路線は、交通量が 9,626 台/日、混雑度が 0.83（H17 道路交通センサス）であるものの、当該路線の接続先である一般県道道場山安城線では、交通量が 14,876 台/日、混雑度が 1.30（H17 道路交通センサス）となっており、慢性的な混雑が発生し、交通に支障が生じていた。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>(1) 人の交流を支え地域を活性化する基盤整備</p> <p>本路線は交通量が 10,404 台/日、混雑度が 1.08（H22 道路交通センサス）と事業採択時から増加しているとともに、接続先の一般県道道場山安城線では交通量が 12,863 台/日、混雑度が 1.31（H22 道路交通センサス）と慢性的に混雑している状況が続いている。</p> <p>(2) 交通安全対策の強化</p> <p>流出した通過交通が一般県道道場山安城線を通じて周辺住民の生活道路を通過している。この生活道路には歩道が設置されておらず、歩行者等が危険にさらされているので、通過交通を生活道路から排除する必要がある。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>大きな変動要因はないことから、引き続き整備の必要性がある。</p>			

判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。																																																												
	【理由】 事業の必要性に変化はなく、周辺道路の渋滞解消に向けて引き続き整備が必要である。																																																													
1) 進捗状況	【事業計画及び実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="3">←————→</td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td colspan="7">←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費(億円)</td> <td>計画</td> <td colspan="7"></td> <td>1.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="7">6.2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	工種区分	調査・設計	←————→				←————→				用地補償	←————→									工事					←————→		←————→		事業費(億円)	計画								1.4		実績	6.2								
			H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																																																				
工種区分	調査・設計	←————→				←————→																																																								
	用地補償	←————→																																																												
	工事					←————→		←————→																																																						
事業費(億円)	計画								1.4																																																					
	実績	6.2																																																												
【進捗率】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>—</td> <td>0.4</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>—</td> <td>6.2</td> <td>—</td> <td>7.6</td> <td>80.3%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>—</td> <td>1.3</td> <td>—</td> <td>2.7</td> <td>48.1%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>—</td> <td>4.6</td> <td>—</td> <td>4.6</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>—</td> <td>0.3</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地進捗率(面積ベース)は、100%</p>			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	—	0	—	0.4	0%	事業費(億円)	—	6.2	—	7.6	80.3%	工事費	—	1.3	—	2.7	48.1%	用補費	—	4.6	—	4.6	100.0%	その他	—	0.3	—	0.3	100.0%																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																										
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																									
延長(km)	—	0	—	0.4	0%																																																									
事業費(億円)	—	6.2	—	7.6	80.3%																																																									
工事費	—	1.3	—	2.7	48.1%																																																									
用補費	—	4.6	—	4.6	100.0%																																																									
その他	—	0.3	—	0.3	100.0%																																																									
2) 未着手又は長期化の理由	・完了予定年度に変更なし。																																																													
3) 今後の事業進捗の見込み	【阻害要因】 ・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。 【今後の見込み】 ・平成29年度までに整備が完了する予定である。																																																													
判定	A	A： 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。 B： 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける) ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。																																																												
	【理由】 ・事業は順調であり、予定通り平成29年度までに整備完了が見込まれるため。																																																													

②事業の進捗状況及び見込み

Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 再評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、安全性の改善状況 	